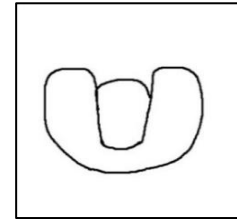


R8年産「市田柿」花芽調査結果

南信州農業農村支援センター

1 調査日 令和7年12月18日に結果母枝を採取し、花芽原基の調査をした。

2 調査方法 ・目通りの20～25cm程度の結果母枝を1園地あたり10本採取し、枝長、芽数、芽基部横径及び花原基数を調査した。
・花原基は大きさに関係なく形状が確認されたものを数えた(右図)。
・なお、20～25cmの結果母枝当たりの標準着果数は6果/枝を暫定値としている。



柿の花原基模式図

3 結果

表1 「市田柿」花芽調査の結果(令和7年12月、南信州農業農村支援センター)

地区名	標高	年度	結果母枝長 (cm)	芽数 (個/枝)	平均花原基数(個/1芽)				総花原基数 (個/枝)
					1芽目	2芽目	3芽目	4芽目	
飯田市 座光寺	570m	R8年産	24.5	6.5	3.9	3.6	2.9	1.7	13.8
		R7年産	24.0	5.9	3.5	2.6	2.3	1.3	10.0
		R6年産	23.1	6.0	3.3	3.0	2.4	1.8	12.2
		R5年産	21.2	6.6	4.9	4.4	4.3	2.8	17.9
		R4年産	23.0	6.9	3.4	2.8	1.6	0.6	9.7
		R3年産	23.4	7.3	3.2	2.8	2.1	2.0	12.4
		平均 ^z	22.9	6.5	3.7	3.1	2.5	1.7	12.4
高森町 山吹	520m	R8年産	23.5	6.9	4.4	4.0	3.2	2.8	16.8
		R7年産	23.3	6.5	4.1	3.6	2.7	2.1	15.2
		R6年産	24.0	7.6	4.0	3.4	3.0	2.6	16.1
		R5年産	21.2	6.0	4.1	4.1	4.0	2.4	16.3
		R4年産	23.8	6.2	3.7	2.9	2.1	1.4	10.2
		R3年産	20.3	6.3	4.1	3.2	3.1	1.8	13.3
		平均 ^z	22.5	6.5	4.0	3.4	3.0	2.1	14.2

z: 令和3～7年の5カ年の平均値。

4 考察 ・花芽原基数は直近5カ年平均並み～やや多かった。
・20～25cmの結果母枝当たりの標準着果数を6果/枝とした場合、両園地とも2倍以上の花原基数が認められる。
・観察上、休眠芽の外観及び内部組織に問題は認められなかった。

5 注意点 ・これは摘果などの通常の着果管理を行った園地でのデータである。
・弱小な花原基(基部の第一番目)も数えているので、すべてが開花、結実するわけではない。
・任意の結果母枝のみを評価しているので、園全体の花蕾の状況を保証するデータではない。